



みんなでつなごう！ 支えあいの輪！
～生活支援コーディネーター通信～



第 30 号
令和 7 年 1 月発行

高崎市生活支援
コーディネーター
通信

めざせ！ワンハート

みなさまへ

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

2月10日（月）・12日（水）に今年度2回目の第2層協議体小規模情報交換会を実施します。今回は2つのテーマで各回グループワークを行います。ぜひ、たくさんの住民メンバーの方に情報交換会にご参加いただき、高崎市内の協議体活動を盛り上げていくことができればと思います。今年もお互い様の支え合いが進むようみんなで力を合わせて頑張っていきましょう。



11・12月の第1層協議体の話し合いの内容



11月

<住民企画会議>

- ① 第2層協議体情報交換会振り返り
- ② ふれあいの広場振り返り
- ③ 地域包括ケアフェスティバルについて
→3サポの交流会は再検討
- ④ 第1層協議体 中間振り返り
- ⑤ 第1層協議体メンバー増員の検討
→12月オブザーバー参加

<事業推進会議>

【グループワーク】

「普及啓発」「企画推進」
「活動創出・支援」の3グループに分けて
グループワークを実施

12月

<住民企画会議>

- ① 地域包括ケアフェスティバル振り返り
→周知ができた・協議体を知らない3サポの方と交流ができた
- ② 第2層協議体小規模情報交換会の検討
- ③ 高崎市生活支援体制整備事業指針（案）検討
- ④ 高崎市第1層協議体住民メンバーの役割（案）検討
→今後、高崎市、あんしんセンターの役割も検討する

<事業推進会議>

【グループワーク】

「普及啓発」「企画推進」
「活動創出・支援」の3グループ
に分けてグループワークを実施

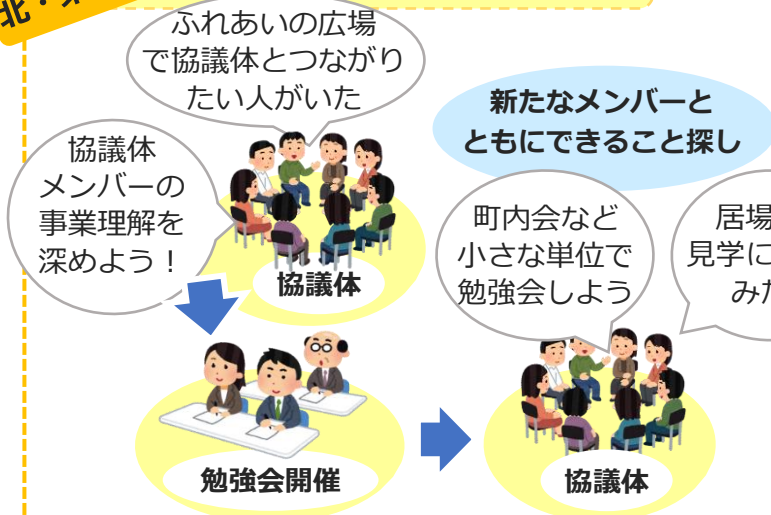
第1層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」**、**「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」** そうしたみなさんからの相談も第1層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

北・東・西地区

協議体勉強会を開催



【目的】協議体メンバーが協議体活動を再確認することや、ふれあいの広場のアンケートで協議体とつながりたいと回答した方へアプローチをすること、地域づくりに関心のある方へ声かけや仲間づくりをする。

【経緯】協議体での話し合いから、協議体メンバーの事業理解に加え、地域の方に協議体について知ってもらうために協議体メンバーが地域住民に声をかけ9名の方が勉強会に参加してくださいました。

【様子】当日の勉強会に参加した地域住民からは、「他の居場所も見てみたい」、「地域に居場所を作りたい」、「それぞれの地域で小さい単位で勉強会を開催したい」といった意見も聞かれました。

【今後】新たなメンバーを迎え、今後も協議体でできることを検討していきます。

倉賀野地区

協議体勉強会と座談会を開催



【目的】勉強会を通じて新たな協議体メンバーを募る。

【経緯】倉賀野協議体では、協議体メンバーが減り、地域の情報共有が難しくなっていました。そこで、新たな協議体メンバー募集を目的に勉強会をすることになりました。

【様子】当日は、第1層SCより支え合いが必要な社会背景や制度について説明。その後、倉賀野協議体の活動を紹介、参加者同士で情報交換を行いました。参加者からは、「サポーター交流会で興味を持ち、地域の見守り活動をしたい」、「空き家や空き地等を活用したい」、「まずは地域に出向くところから始めたい」といった意見も聞かれました。また、新たに協議体メンバーに2名の方が加入して下さることになりました。

【今後】新たなメンバーとともに、見守り活動について検討をしていきます。

見守りをテーマに
フォローアップ講座
をやる

町内会に分かれ
グループワーク

月に1回くらい
見守り活動を
してみよう

協議体

居場所を作って
関係性を作ろう

町内会の役員
と連携しよう

協議体便り
で様子を発信
しよう！

協議体

町内の動きを
共有しよう



- 【目的】既存のサポーターに加え、新たにサポーターになった方が協議体活動について理解を深め、サポーターが八幡地区内の取り組みを知り、サポーター同士のつながりを強化する。
- 【経緯】八幡協議体では、昨年に引き続き「見守り」をテーマにし、地域ごとに地域でできることをワークショップ形式で情報交換し、今後の取り組みに役立てることになりました。
- 【様子】第1層SCよりプチ勉強会を開催し、その後あんしんセンターより八幡地区の状況説明をしました。その後のグループワークでは見守りの方法を検討しました。「実際に見守り活動を始めてみよう」という地域や「居場所から見守り活動をしていこう」という意見もできました。
- 【今後】それぞれの町内会でできることを探し、協議体で情報を共有しつつ、見守り活動から助け合い活動へ発展させていきます。

山梨県南アルプス市から視察研修受け入れ

市内の協議体や居場所では、活動の見学や視察を受け入れ、情報交換を行っています。今回は、南アルプス市協議体メンバーが居場所「八起き」や、くらしくらぶの活動について視察に来てくださった様子を紹介します。



- 【経緯】南アルプス市協議体では、気軽に集まれる居場所づくりや移動支援を含む助け合い活動ができないか議論を重ね、住民主体の「居場所」づくりと生活支援一体型で行う移動支援について視察、情報交換をすることを目的に、高崎市へ視察に来られました。
- 【様子】居場所「八起き」での意見交換では、居場所の様子を視察し、地域住民同士で意見交換をしました。くらしくらぶとの意見交換では、動画を上映し日々の活動の様子を伝え、立ち上げの経緯や活動中の留意点などの意見交換をしました。帰路のバス車内では、「誰かのためにやるのも大切だが、自分のためにやる」という意見に刺激を受け、自分たちのためにも頑張ろうという声が聞かれたとの報告もありました。

周知活動 地域包括ケアフェスティバルにて第1層協議体周知活動






- 【目的】「協議体」を広く市民や3サポーターに周知し、新たな担い手を発掘する。
- 【経緯】第1層協議体では、今年初めて開催された「地域包括ケアフェスティバル」でブース出展し、協議体チラシの配布と活動紹介のパネル展、アンケートを行いました。
- 【様子】第1層協議体メンバーが中心となり、周知活動を行いました。協議体活動から新たに生まれた支え合い活動の様子についてプロジェクターで上映したり、来場者にアンケート調査を実施したりしました。ブースにお越しいただいた方とじっくり話ができて、充実した周知活動となりました。
- 【今後】協議体に関わりを持ちたいと回答してくださった方につきましては、あんしんセンターを通じ、第2層協議体へつないでいきます。

第2層協議体小規模情報交換会開催のお知らせ

7月に引き続き第2層協議体小規模情報交換会を行います。各協議体4人まで参加ができます。ぜひ、多くの方に参加していただき、みんなで他地区の活動を知り、意見交換を重ね、各地区の協議体活動に活かしましょう。

- 【目的】・数か所の第2層協議体の住民メンバー間で活動状況に関する情報等を交換し、自地域に持ち帰り、今後の活動における参考事例や課題の共有及び今後の活動への意欲向上を図る。
・住民メンバー同士がつながり地域間の連携体制を構築する契機とする。
- 【内容】**テーマ：居場所等の「人との交流」・ニーズ調査アンケートからの生活支援を含む「支え合い」**
7月の第2層協議体小規模情報交換会や10月の第2層協議体情報交換会を経て、第2層協議体としてどのような話し合いをして、どのような活動を始めているのか、または今後進める予定かを話し合う。

【会場】高崎市役所 20階 研修室

- 第1回 テーマ：人との交流
・日 時：令和7年2月10日（月）10：00～12：00
・対象地区：八幡、片岡、榛名、南八幡、岩鼻、矢中、長野（7地区）
- 第2回 テーマ：人との交流
・日 時：令和7年2月10日（月）13：30～15：30
・対象地区：群馬（さくら）、中央・南・城南、新高尾・中川、城東・東部、塚沢・浜尻、箕郷、豊岡（7地区）
- 第3回 テーマ：支え合い
・日 時：令和7年2月12日（水）10：00～12：00
・対象地区：新町、群馬（なのはな）、倉淵、中居、吉井、寺尾・城山（6地区）
- 第4回 テーマ：支え合い
・日 時：令和7年2月12日（水）13：30～15：30
・対象地区：滝川・京ヶ島、倉賀野、北・東・西、佐野、大類、乗附、六郷・北部（7地区）

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター
連絡先：☎027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

